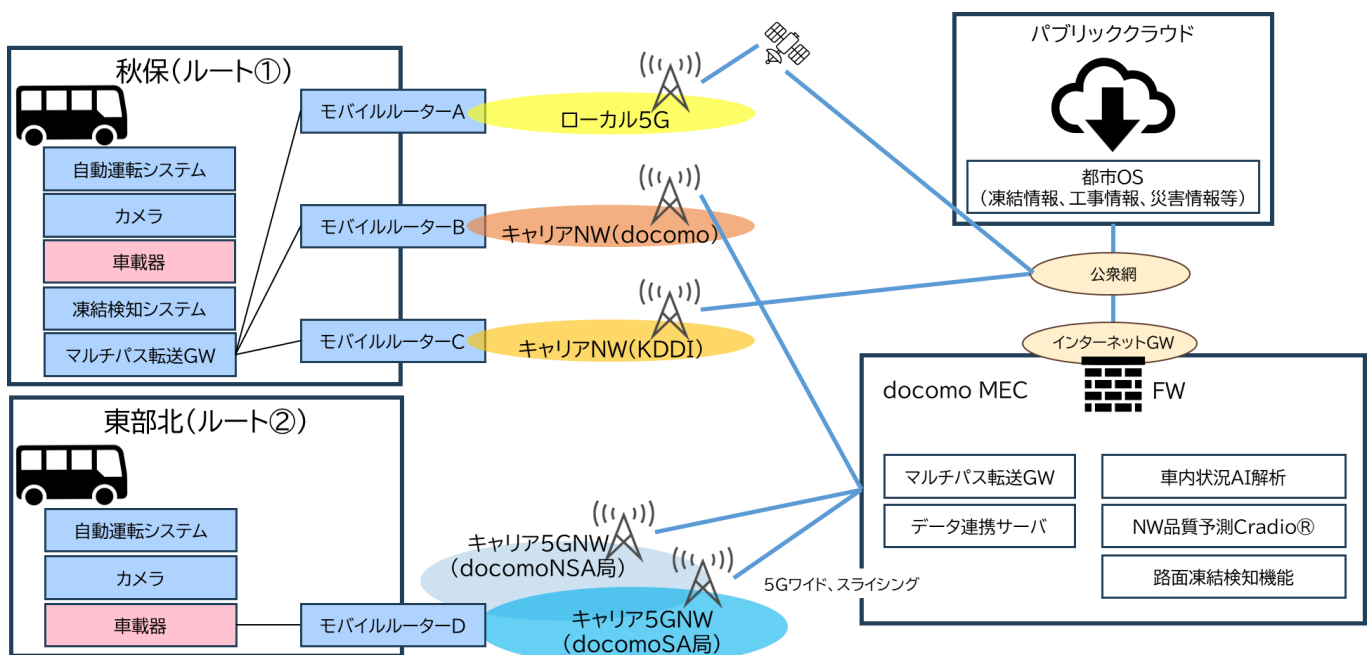


実証実験での各社の役割および使用する技術要素と構成

本実証は、総務省の令和6年度補正予算「地域社会 DX 推進パッケージ事業（自動運転レベル4 検証タイプ）」による自動運転の実証実験にむけ、NTT ドコモビジネス株式会社、NTT アドバンステクノロジー株式会社、株式会社 NTT データ経営研究所、パナソニック コネクト株式会社、ドコモ・テクノロジー株式会社、株式会社タケヤ交通、先進モビリティ株式会社、株式会社 NTT ドコモの8社で構成されるコンソーシアム、および協力機関で実施します。本実証での各社の役割と使用する技術要素・構成は以下の通りです。なお、本実証における一部の技術要素につきましては、協力機関からの提供・支援を受けて実施しています。

＜実証実験の構成＞



1. 各社の役割と技術要素

NTT ドコモビジネス株式会社	・実証実験全体の計画策定、全体管理 ・実現方式の検討および全体ネットワーク構成の設計・構築 ・5G ワイド、ネットワークスライシング、docomo MEC を活用した安定的かつセキュアに接続する閉域ネットワークの設計・構築・運用 ・自動運転バスの遠隔監視システムの設計、構築、提供 ・自動運転バスのカメラシステムの設計、提供 ・遠隔監視員、ドライバーへの調査 ・ローカル 5G、および Starlink の設計・構築・運用
NTT アドバンステクノロジー株式会社	＜秋保ルート＞ ・マルチ無線プロアクティブ制御技術 Cradio®システムの構築、運用

	・複数無線システム（ローカル 5G、複数キャリア網）を統合したマルチ無線プロアクティブ制御技術 Cradio®による最適化、および同統合エリアにおける無線伝送・検証の推進
株式会社 NTT データ経営研究 所	・実証全体の管理の支援
パナソニック コネク株式会社	・自動運転車両内での白杖検知における AI 検知システムの設計、構築、運用
ドコモ・テクノ ロジ株式会社	＜東部北ルート＞ ・高品質無線通信ネットワーク全体の設計・構築・運用 ・5G ワイド、ネットワークスライシングを活用した無線伝送・映像伝送の評価・検証の推進
株式会社タケヤ 交通	・運行区間におけるバスの運行に関する知識の提供 ・自動運転バスの運行に関わる各種計画・運行・管理 ・自動運転バスの運行における運行管理業務、および遠隔監視に関する知識の提供
先進モビリティ 株式会社	・自動運転バス車両の提供および、運行区間でのバス走行に必要な調律作業、乗務員への車両操作トレーニングの実施
株式会社 NTT ドコモ	＜秋保ルート＞ ・自動運転バスの遠隔監視システムの設計、構築、提供 ・マルチパス転送 GW の設計、構築、提供
【協力機関】 東北大学	・学術的見地から先端的な助言の実施
【協力機関】 仙台市	・実証場所の所管局や指定管理者、区役所等との調整および実証にかかる広報周知
【協力機関】 NTT アクセスサ ービスシステム 研究所	・複数の無線規格に対応した高精度な伝搬推定・置局設計、および無線通信品質の変化の予測を実現するマルチ無線プロアクティブ制御技術 Cradio®の支援
【協力機関】 NTT ネットワー クサービスシス テム研究所	・複数のキャリア回線を併用し、走行中に通信環境が変化しても自動的に最適な回線へデータを振り分けるマルチパス通信制御技術（協調型インフラ基盤）の支援